

柔道整復スポーツ学科（昼間部3年制）

学科の特色

本学科が育成をおこなっている「スポーツ」と「医療」に寄与する人材は、豊かな生活を営むために必要な人材である。医療人としての高い倫理観と他者に共感できる心を育み、知識と技術を兼ね備えた、スポーツトレーナーや柔道整復師として活躍できる人材の養成と、人格を陶冶することを目標としている。

ディプロマポリシー

本学科では、「建学の理念」と「4つの信頼」に基づき、以下の教育的な目的を掲げている。

1. 医療人としての道德観と倫理観を持つ。
2. スポーツトレーナー・柔道整復師の資格試験に合格できる知識・技術を身につける。
3. 人体の基本的構造・医学・スポーツに関する基本的知識を有し、適切な問題解決能力を有する。
4. 相互理解を深め、協調性のもとに医療・スポーツ現場で良好な人間関係を構築できる。
5. 研究の必要性を理解し研究をおこない、論理的思考や独創的発想ができる。

カリキュラムポリシー

ディプロマポリシーに掲げた目的を達成するために、以下のような工夫を行なっている。

1. キャリア教育や倫理学を通じて、医療・保健・福祉と社会の関係を理解し、医療人としての倫理観や地域貢献できる能力を養う。
2. 現場経験を持つ実務家教員の講義を受講し、業界が求める知識と技術を養う。
3. 海外研修や国際交流を通じてグローバルな視点を養う。
4. 課題研究を通じてチームで協働する力を身につけ、新しい知見を発見することと創造する力を養う。

アドミッションポリシー

本学科では、ディプロマポリシーに掲げた教育的目的に望ましい医療人・スポーツトレーナーとして活躍してもらうため、以下に示す姿勢や考えに共感できる人物を求めている。

1. 主体的に学修を継続する態度と意欲があり、自己の成長に研鑽する人。
2. 医療に従事するというプロフェッショナリズムを認知し、社会に貢献したいと考える人。
3. 協調性、コミュニケーション能力、リーダーシップと責任感を有する人。
4. 生涯を通して探求心を有し、俯瞰的な視野を持ち問題意識を常に持つ人。
5. 学修に必要な基礎的な論理的思考力や判断力、表現力がある人。

取得目標資格

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| (1) 柔道整復師 [国家資格] | (2) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー |
| (3) JATI トレーニング指導者 | (4) スチューデントトレーナー中級 |
| (5) 日本赤十字社救急法救急員 | (6) スポーツリーダー |
| (7) アロマセラピー検定1級 | |

就職分野

専属（チーム）トレーナー、スポーツ関連施設、接骨院（整骨院）、病院、診療所（クリニック）
福祉介護施設 など